

東宝 果てしない謎を追う男たち。——冒険とミステリーの2大作。

# 黄金のパートナー

監督■西村潔 / 原作■西村京太郎  
カバ・ヘルム  
 愛蔵人形師等



その錆びた  
 潜水艦は  
 キラキラと輝く  
 サンゴの海で  
 俺たちを  
 待っていた…

三浦友和  
 藤 竜也  
 紺野美沙子  
(二子)  
 佐藤 慶  
 吉行和子  
(特別出演)  
 菅田伸介

製作■山田順彦  
 企画■山口義宏  
 脚本■長野洋  
 音楽■東宝音楽部  
 製作■東宝株式会社  
 配給■東宝株式会社  
 協力■三菱自動車



# 乱れからくり

監督■児玉進  
 日本推理作家協会賞受賞作品 原作■泡坂妻夫  
(幻影城刊)

愛が生まれるとき  
 また、血が流れる  
 三百年の怨念が呼ぶ連続惨劇！  
 今夜も 人形が襲ってくる。

松田 優作  
 篠 ひろ子  
 野際 陽子  
 岸田 結城しのぶ  
 結城しのぶ  
 峰岸 徹  
 沖 雅也  
 田中 邦衛

製作■田中文雄 脚本■永原秀一

製作■株式会社東宝 配給■東宝株式会社

東京音協 5月例会 ¥880

(一般1,300円のところ)  
 音協会員に限り

ヒビヤ 千代田劇場 ☎ 591-1716	ハチ公前 渋谷宝塚 ☎ 461-8779	西郷銅像下 上野東宝 ☎ 831-3431	コマ劇場地下 新宿コマ東宝 ☎ 202-0131
----------------------------	----------------------------	-----------------------------	--------------------------------

# 黄金のパートナー

東宝



**か・い・せ・つ**  
南太平洋の青く輝く海と空。海底に眠る十億の金塊。三浦友和が青春の熱い血を燃やして挑む冒険ロマンです。デビュー以来、さまざまな青春を演じてきた三浦友和が、はじめて取りくんだ冒険野郎という新しいヒーロー像にご期待下さい。

三浦友和のパートナーには、79年「ユニカ・マスケット・ガール」としてさややかにデビューした紺野美沙子。そして、TV「大追跡」シリーズで男らしさの中にコミカルな味を出す個性派、藤竜也がからみます。演出はシャープな映像感覚と切れ味のいいドラマづくりで定評の西村潔監督です。



**も・の・が・た・り**  
スクープ・カメラマン野口のヨットの無線機に毎夜、SOSのモールスコードが送られてきた。相棒のアウトロー警官江上と、行きつけのスナック「榛名」で知り合った氏家由紀子の三人でこの謎のモールスコードを調べるが、それは日本帝国海軍の暗号で、「コチラ伊号五〇九潜水艦 サイパン軍艦島沖合 救助乞ウ」という意味であった。しかも、この潜水艦は終戦時、七〇〇キロの金塊を積んでサイパンの海で自爆したという。十億円もの金塊がサイパンの海底に眠っている。そして、モールスコードはその秘密を語るうたとしていた。三人の若者の冒険心は高まった。野口たちは冒険というロマンを求めて、サイパンに旅立った。

青く輝く美しいサイパンの海底。野口達はずいぶん伊号五〇九潜水艦を捜し出した。金塊はどこに。しかし、収獲は航海日誌だけであった。すでに金塊は終戦時に日本に運ばれており、秘密軍事組織・南原機関の神谷に一人占めされ、森明夫が金塊運びを手伝わさせられていた。

森明夫、それは由紀子の父であり、神谷の追っ手からサイパンに逃れ、野口らの力を借りて、神谷の秘密を暴露しようと考えていた。しかし、森明夫は神谷によつて殺され、次には秘密を知った野口たちが殺られていた……。

●スタッフ  
製作……山田 順彦  
企画……川口 義宏  
原作……西村京太郎  
脚本……長野 洋  
監督……西村 潔  
製作補……高井 英幸  
撮影……市原 康至  
美術……竹中 和雄  
録音……伴 利也

照明……高島 利雄  
水中撮影……中村 征夫  
音楽……来生たかお  
高 中 正義  
主題曲「そして昼さがり」  
キティ・レコード  
作詞……来生えつこ  
作曲・歌……来生たかお  
協力……三栄自動車  
製作・株式会社東宝映画  
配給・東宝株式会社

●キャスト  
野口浩介……三浦 友和  
江上周作……藤 竜也  
氏家由紀子……紺野美沙子  
マスター……殿山 泰司  
神谷信博……芦田 伸介  
大川……佐藤 慶  
和辻……中村 伸郎  
森明夫……金内喜久夫  
森由枝……吉行 和子  
(特別出演)



# 乱れからくり

## 馬割家の系図



**か・い・せ・つ**  
「乱れからくり」は昭和五十三年度日本推理作家協会賞を受賞した泡坂妻夫の同名小説の映画化です。

殺人者は人か人形か。江戸時代からつづく玩具会社「鶴寿堂」を経営する馬割一族を襲う連続殺人! 事件の裏に潜む馬割家の謎と、ねじ屋敷の迷路の秘密を追って、新米探偵の勝敏夫と男勝りの興信所所長・宇内舞子の活躍が始まる。

勝敏夫には松田優作が扮し、男のニオイを感じさせるダイナミックで野性的な演技をみせてくれます。



**も・の・が・た・り**  
玩具メーカー「鶴寿堂」の製作部長・馬割朋浩が、交通事故に遭って死んだ。同乗していた妻の真棹は、居合わせた勝敏夫に危ういところで救い出された。興信所の社員である敏夫は、「鶴寿堂」社長・馬割鉄馬に依頼され、朋浩の会社乗取りとを究明すべく、興信所の所長・舞子とともに彼らを尾行していたのである。

江戸時代の末期からつづく「鶴寿堂」は、馬割一族の同族会社で、現在は脳溢血で倒れた三代目・鉄馬に代って息子の宗児が営業部長を、鉄馬の弟である龍吉のひとり息子・朋浩が製作部長を各々担当、激しい確執を繰り返しながら「鶴寿堂」の経営にあたっていた。

馬割一族を襲う連続殺人事件は、朋浩の死の直後から始まった。完児の妹・香尾里が馬割家の屋敷内で変死体となって発見され、ひきつづき完児が殺害された。完児自慢の茶運び人形に毒入り注射器が仕掛けられていたのである。そして、土蔵の中からは、血みどろになった鉄馬の姿が……!

謎を究明しようと馬割一族の住むねじ屋敷の秘密の洞窟に忍び込む敏夫と真棹。そのとき、二人の前に突如として驚くべき人物が出現!

やがて、江戸時代から伝わる馬割一族の恐ろしい秘密が明らかにされる……。

●スタッフ  
製作……田中文雄  
原作 (幻影城刊) 泡坂妻夫  
脚本……永原秀一  
監督……児玉 進  
撮影……上田正治  
美術……樋口幸男  
録音……林頼四郎  
照明……小島正七  
音楽……大野雄二  
製作・株式会社東宝映画

●キャスト  
勝 敏夫……松田 優作  
馬割真棹……篠 ひろ子  
宇内舞子……野際 陽子  
馬割朋浩……沖 雅也  
" 宗児……峰岸 徹  
" 鉄馬……岸田 森  
" 香尾里……結城しのぶ  
奈良木警部……田中 邦衛  
京堂刑事……山西 道広  
宝田老人……北見 治一

